

English translation:

This application is refused for the reason(s), as stated in the Notice of Rejection dated on February 3, 2005.

The Argument and the Amendment have been examined. However, there has been found no basis sufficient to remove the previously given reason(s) for rejection.

Remarks

In Publication 2 previously referred, it is disclosed that the thickness of a first conductor is selected to substantially restrict thermal elevation of the first conductor caused by DC current flowing in said first conductor.

Meanwhile, since conductors normally heat-radiate, it is obvious that the thermal restriction disclosed in Publication 2 is based on a balance between the generated heat value with the radiated heat value.

Furthermore, it is disclosed in, for example, Japanese publications JPA 83970/1996 (particularly refer to L. 15 to 18, Paragraph 0014) and JPA 74748/1999 (particularly refer to L. 6 to 7, Paragraph 0028) that the thickness of the conductor is set in a range of 0.01 to 2.0 mm.

Therefore, this matter is also generally known and therefore cannot be deemed as the remarkable one.

整理番号:T-9534 発送番号:313483 発送日:平成17年 8月24日 1

拒絶査定

特許出願の番号	特願2003-282369
起案日	平成17年 8月19日
特許庁審査官	小林 正明 4241 5W00
発明の名称	伝送線路型ノイズフィルタ
特許出願人	NECトーキン株式会社
代理人	池田 憲保 (外 1名)

この出願については、平成17年 2月 3日付け拒絶理由通知書に記載した理由によって、拒絶をすべきものである。

なお、意見書及び手続補正書の内容を検討したが、拒絶理由を覆すに足りる根拠が見いだせない。

備考

先の刊行物2には、温度上昇を実質的に抑制ために、第1導電体の厚さを設定することが示されている。

ところで、導電体は、通常、放熱するものであるから、先の刊行物2に示される温度上昇の抑制は、発熱量と放熱量とのバランスに基づいているものであることは、自明である。

また、導電体の厚さを0.01から2.0mmの範囲の厚さとする 것도、例えば、特開平8-83970号公報(特に、第3頁第4欄第25~28行参照。)
)及び特開平11-74748号公報(特に、第5頁第8欄第9~10行参照。
)に示されるように、一般的であり、格別な事項とは認められない。

この査定に不服があるときは、この査定の謄本の送達があった日から30日以内(在外者にあつては、90日以内)に、特許庁長官に対して、審判を請求することができます(特許法第121条第1項)。

(行政事件訴訟法第46条第2項に基づく敬示)

この査定に対しては、この査定についての審判請求に対する審決に対してのみ取消訴訟を提起することができます(特許法第178条第6項)。

整理番号:T-9534 発送番号:313483 発送日:平成17年 8月24日 2/E

上記はファイルに記録されている事項と相違ないことを認証する。

認証日 平成17年 8月22日 経済産業事務官 平瀬 恵美子

BEST AVAILABLE COPY